（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	さんキッズプラス			
○保護者評価実施期間	2026　年　2 月　9 日	～	2026　年　2　月　28 日	
○保護者評価有効回答数		23 名	（回答者数）	16 名
○従業者評価実施期間	2026　年　3　月 2 日	～	2026　年　3　月　21 日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6 名	（回答者数）	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントを丁寧に行い、一人一人の子どもの発達段階や特性に応じた支援を実施している。	事業所で策定したアセスメントツールを使用し、一人一人の発達段階や得意なこと、不得意なこと等を丁寧にアセスメントしている。それを職員間で共通理解し、子どもに合ったプログラムを提供するように心掛けている。	より子どものニーズに応じた活動内容を提供できるように、職員の研修、話し合い等を通じ、職員一人一人のアセスメント力のアップ、資質の向上を目指す。
2	個別活動と小集団の活動を組み合わせたプログラムを提供し、様々な側面から発達を促している。	個別活動で学んだことを、小集団の中で般化したり、個別、小集団それぞれの活動だけでは習得できないことを補ったりと、個別と集団両方の良さをいかした、つながりのある活動を意識している。	よりよい活動が提供できるように、職員が常に情報収集を行い、新しい活動を探求したり、職員間で情報を共有し、活動内容をより充実させていく。
3	保護者と子どもの情報を共有し、ニーズを把握している。	毎回の連絡帳で、その日の出来事や実施したプログラムを、わかりやすく、詳しく伝えるよう心掛けている。また、定期的に保護者の方と話す機会を設け、様子や課題を丁寧に伝えると共に、ニーズの把握を行っている。	連絡帳の質を向上させ、よりわかりやすい伝え方を目指す。保護者のニーズと子どもの発達段階に応じた支援ができるように、職員のスキルアップ、資質の向上に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会の不足。	活動時間の限られた中で、本人支援に力を入れているため、地域との交流はできていない。	保護者の方の要望を伺ったり、地域の社会資源を活用し、必要性や実施方法を検討していく。
2	保護者同士の連携の支援ができていない。	事業所と保護者間での相談や対応は行っているが、保護者同士が交流できるような機会は設けられていない。	保護者の方の意見や要望を伺いながら、必要性や実施方法を検討していく。
3			